

第67回

中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会

～神話の郷に集う縁 ～新時代を生き抜く力を～

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会が令和7年7月11日(金)くにびきメッセにおいて、地区内の9県より会員および大会関係者を含め約1,100名が一堂に会し開催されました。高知県からは73名が参加しました。



開会式では原実行委員長の挨拶に続き、全国高P連の田名部智之会長のメッセージを伊福聡副会長が代読した後、野津建二島根県教育長の挨拶、丸山達也島根県知事代行、上定昭仁松江市長代行からご祝辞をいただきました。

その後、「IT から生まれる人の幸せとは何か？」と題してメカニックデザイナーの山根公利氏に講演いただきました。講演では、①IT とは何か ②島根→東京→島根 移住生活の現在まで ③メカニックデザイナーという仕事と AI との今後 という3つの視点から話が展開し、故郷の文化をもとにした想像力や子供時代に吸収したことが現在の仕事に大きく結びついているように感じました。



お弁当はこんな感じ

昼食時の休憩時間には、会場ロビーにおいて県内4校の高校生による生産・加工物等の販売が行われ、完売状態の盛況ぶりでした。



午後からは高校生による活動発表が行なわれました。浜田商業高校、皆美が丘高校、出雲農林高校からダンスや太鼓の若さ溢れる演技がおこなわれました。中でも浜田商業高校郷土芸能部による「石見神楽」は圧巻の迫力がありました。

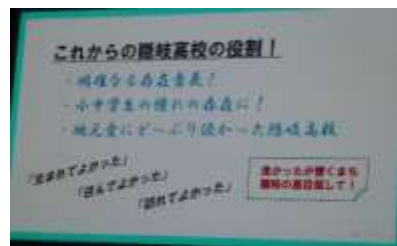


引き続き研究協議が行われ、3つの研究発表をもとに質問や活発な意見交換がありました。最初は、金光学園中学・高等学校のやつなみ保護者会長藤井秀和さんが「子とともに育つ～金光学園やつなみ保護者会の歩み～」と題して発表されました。岡山県の中高一貫校における保護者会の組織づくりや運営にかかわる取組発表でした。



次に愛媛県立今治東中等教育学校 PTA 会長ピース恵利さんが、「生徒の夢を支えるPTAの役割～教職員との連携による6年間の教育支援～」と題して発表されました。組織づくりやPTA活動を進める中で、学校行事等にも積極的にかかわり保護者が学校や子供を支える意気込みが伝わってきました。教職員との懇親会、県立中等学校3校連絡協議会、生徒会との座談会および防災訓練を通して教職員や保護者同士の交流に力を入れる意気込みが伝わってきました。

最後は、島根県立隠岐高等学校PTA会長鳥井 登さんが「人情の島が創る隠岐高校～地域が育む高校魅力化～」と題して発表されました。隠岐高校は島根県沖にある隠岐の島にある創立 113 年目となる高校で、自然の豊かさやユネスコ世界ジオパークを題材にした学校設定科目が特徴で県外からの受入も積極的に行われています。学校周辺は想像以上に便利という言葉に予想を裏切られました。高校卒業後はほとんどが島を離れるため、島の担い手を育成する場所として地域や高校が大きな使命を持っているように感じました。



全体を通して新たな学びを共有できた時間となりました。機会があれば、多くの皆さんに参加していただきたいと思います。

